PH－612形　カメラケース（屋外防雨用）
取扱説明書

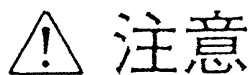
安全にお使いいただくために

ご使用の前に

・ご使用の前にこの「安全にお使いいただくために」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
・お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

1999-06-9497468 1/8 SI
PH-612

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

警告

■表示された電源電圧以外の電圧で使用しない

表示された電源電圧（交流１００ボルト）以外の電圧で使用しないで下さい。
火災・感電の原因となります。

■異常なときは使わない

煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、煙が出なくなることを確認してから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■電源コードに傷をつけない

電源コードに傷をつけたり、加工したり、破損したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりするとコードが破損し、火災・感電の原因となります。

■電源コードが傷んだら交換する

電源コードの芯線が露出したり、断線したときは交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■発火や引火の危険性がある場所に設置しない

ガスなどが充満した場所に設置すると、火災の原因となります。

■分解したり、異物を入れない

ケースを開けて内部に触れたり、金属類や燃えやすいものなどを入れないでください。火災・感電の原因となります。

■落下するおそれのある場所に設置しない

もろい材質の天井板（および壁面）に設置しないでください。
落下してけがの原因となります。

警告

■不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

■塩害や腐食性ガスの発生する場所に設置しない

取付部が劣化して落下などの事故の原因となります。

■ねじや固定機構はしっかり締め付ける

締め付けがゆるむと落下などでけがの原因となります。

■振動、衝撃のある場所では使用しない

落下してけがの原因となります。

1999-06-9497468 3/8 SI
PH-612

⚠ 注意

■温度・湿度については、使用環境で定めてある範囲で使用する
この機器の設置環境は使用環境で定めてある範囲で使用してください。内部の温度・湿度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。

■この機器の上にものを置かない
バランスがくずれたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

■振動や衝撃の加わるところには置かない
この機器に振動や衝撃が加わると、火災や故障の原因となることがあります。

■引火性ガス、腐食性ガスのあたるところには置かない
この機器の周囲に引火性ガスや腐食性ガスがあると、火災の原因となることがあります。

■保守点検について
保守点検を販売店にご相談下さい。機器内部にほこりがたまったまま、長い間掃除しないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、保守点検の費用については販売店にご相談ください。

■上に乗らない
倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

1999-06-9497468 4/8 SI
PH-612

１．はじめに

日立ＰＨ－６１２形カメラケースは、ＣＣＴＶカメラをズームレンズと組合わせて屋外で使用する場合に用いる防雨形カメラケースです。ケースは日除けカバー付き、自然空冷構造になっており、直射日光のもとでもしようできます。

カメラケースの材質は耐食アルミニュウム合金を使用し、耐候性にすぐれ公害にも強いアクリル系樹脂焼付塗装施し、前面窓には、ソーダガラスを使用し、前／後面カバーには耐候性プラスチックを使用しています。

２．標準構成

（１）カメラケース本体		1
（２）カメラ取付ネジ	１／４－２０UNC×１２	1
（３）絶縁ゴム	（カメラ取り付け用）	1
（４）絶縁ブッシュ	（カメラ取り付け用）	1
（５）カラーネジ	（カメラ取り付け用）	1
（６）メクラ板	（ケーブルコネクター用）	1
（７）ボルト・平座金・バネ座金	Ｍ６×１２（雲台取付用）	４組
（８）ＡＣプラグ付きコード		1
（９）取扱説明書		1

３．オプション

（１）ヒーター	内蔵カメラの低温限界より低い周囲温度で使用する場合。
（２）ヒーターガラス	前面窓内面の曇り防止及び除去用
（３）ケーブル後面出し背面板	ケーブルコネクターを背面板の後面に取付、ケーブルを背面に引き出す場合

４．カメラ取付方法（第１図参照）

本カメラケース内にレンズとカメラを収納した後は、レンズのフォーカス・絞りの調整はできませんので、ケースの外でレンズ調整を行なってください。

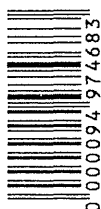
カメラの取付・取りはずしは、必ずカメラケースを水平にして、下記の手順により作業を行なってください。

（１）背面板の取付ネジを緩め、背面板を本体からはずします。
（取付ネジは脱落防止になっています）

（２）蝶ネジを緩め、スライドベースを引き出します。

（３）カメラ取付金具に、絶縁用ゴム板を貼り付ける。
（すでに貼り付けられている場合は、本作業は必要ありません）

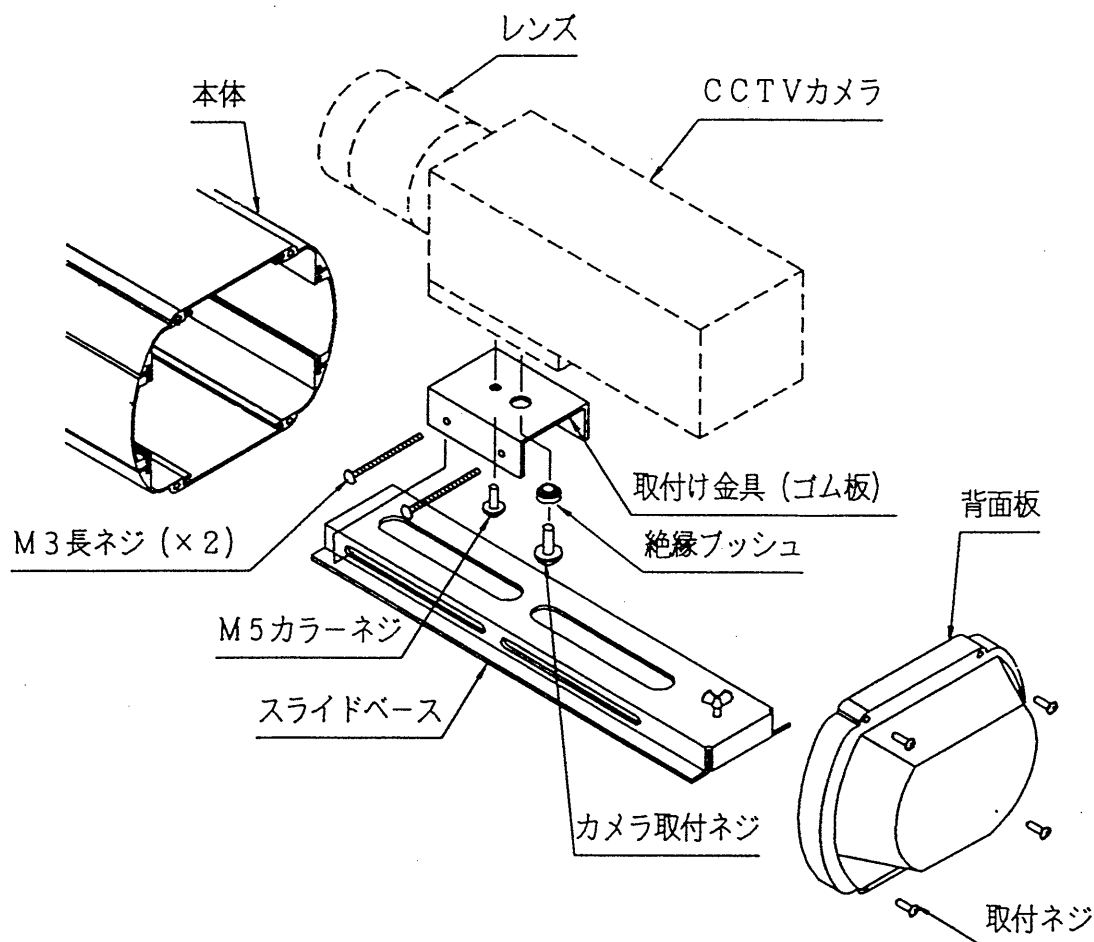
（４）カメラにレンズを取付けた後、カメラ取付台に取付けます。
（カメラ取付ネジ、絶縁ブッシュ、Ｍ５カラーネジを使用します）

（５）カメラ取付金具をスライドベースにＭ３ネジ２本で仮止めします。
（カメラ取付金具がスライドベース上を移動できる程度とします）

（７）レンズ先端から前面窓までの隙間が１０～２０㎜になるように調整してから、静かにスライドベースを引出し仮止めしたＭ３ネジをしっかり締め付ける。

（８）再びスライドベースを挿入し、蝶ネジを締め付けて本体に固定します。

注意：前面窓は、極力開けないようお願いします。

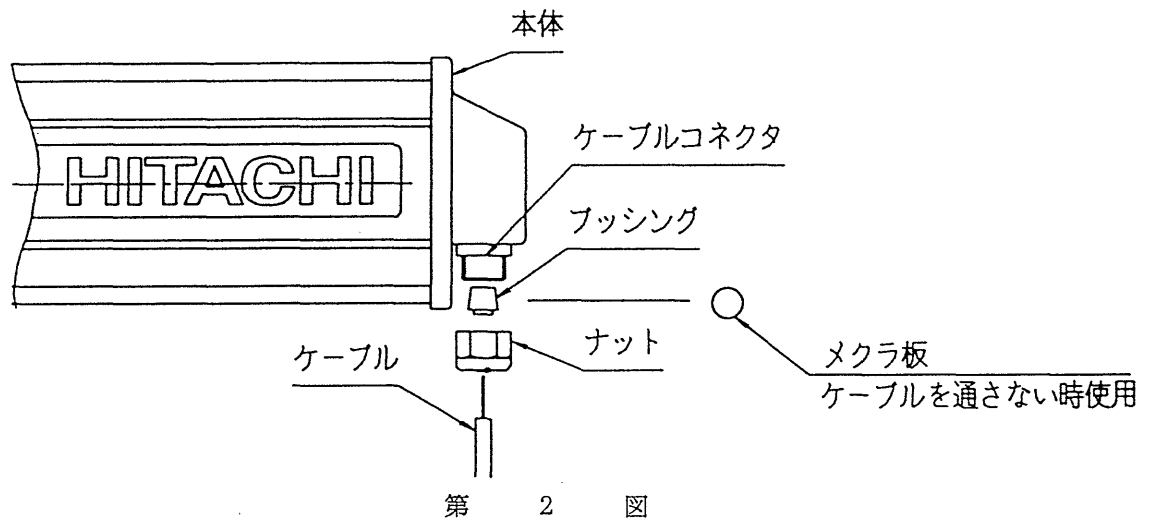
第　１　図

1999-06-9497468 6/8 SI
PH-612

５．ケーブルの取付方法（第２図参照）

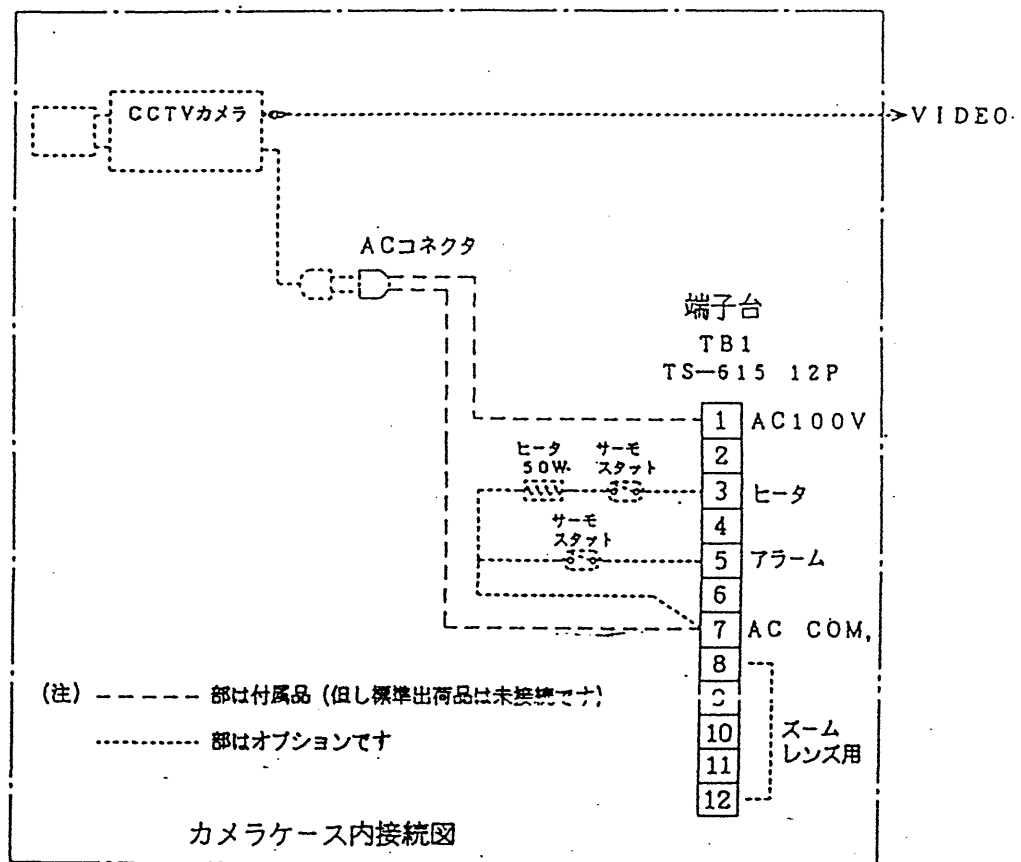
（１）ケーブルコネクターは３個あります。ケーブルを何本使用するのか必ず確認し、使用しないケーブルコネクターは付属のメクラ板を入れて固く締め付けてください。

（２）ケーブルコネクターの適合ケーブル径は各々異なりますので、径の適合するケーブルを使用してください。

（ケーブルの保持がゆるめの場合は、ハイボンテープかビニールテープ等で巻いてからナットを締め付けてください）

第　２　図

６．カメラケース内部接続図

第　３　図

７．仕　　様

項目	仕様
（１）防水の種類	防雨形
（２）適用カメラ	1/2、1/3、2/3形ＣＣＤカメラ
（３）適合レンズ	固定レンズ ズームレンズ（詳細は、当社営業所に問合わせ下さい）
（４）周囲温度	内蔵カメラの低減温度～高温限界マイナス５℃ （例：カメラが-10℃～+50℃のときは、-10℃～+45℃）
（５）周囲湿度	９０%以下
（６）材質	耐食アルミニュウム合金
（７）前／後面カバー	耐候性プラスチック
（８）前面窓	ソーダガラス
（９）取付方法	Ｍ６×４点止め
（10）適用雲台	半固定雲台　ＣＨ－０５または、同等品　「別売」 電動雲台　ＲＭ－２１７または、同等品　「別売」
（11）外形寸法	１８４(W)×１５３(H)×５２７(D)
（12）質量	約４．０Kg